

神田警察通り沿道整備構想のポイント

●【神田警察通り周辺の現状】

- 歩道が狭く、自転車と歩行者が混在
- 昼間人口が減少し、活力が失われつつある
- 夜間人口は減少に歯止め、単独世帯が大幅増
- 公園・空地・緑地が少ない

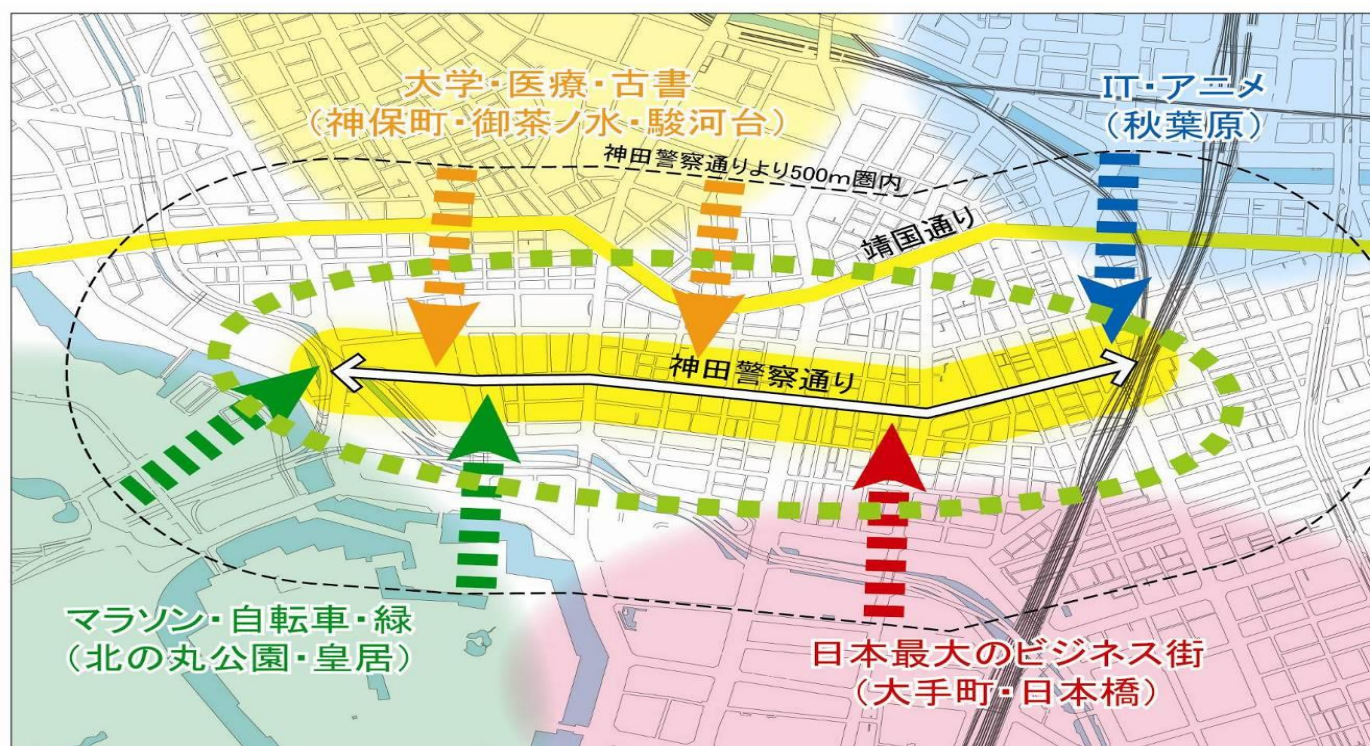


●【まちづくりの目標】

まち自体を楽しめるような環境や仕掛けを整えることで、神田警察通り沿道は、人々が訪れたくなるまちへと生まれ変わることにより、神田地区全体の活性化へとつなげていく。

●【まちづくりの方向性】

- まちの印象を特色づける空間づくり《神田警察通りの再生による活性化》
- 潤いや憩いが感じられる、心地よいまちづくり
《緑地・公園・広場等のオープンスペースの充実》
- 暮らし続けられるまちづくり《地域で生活する人を増加させる環境形成》

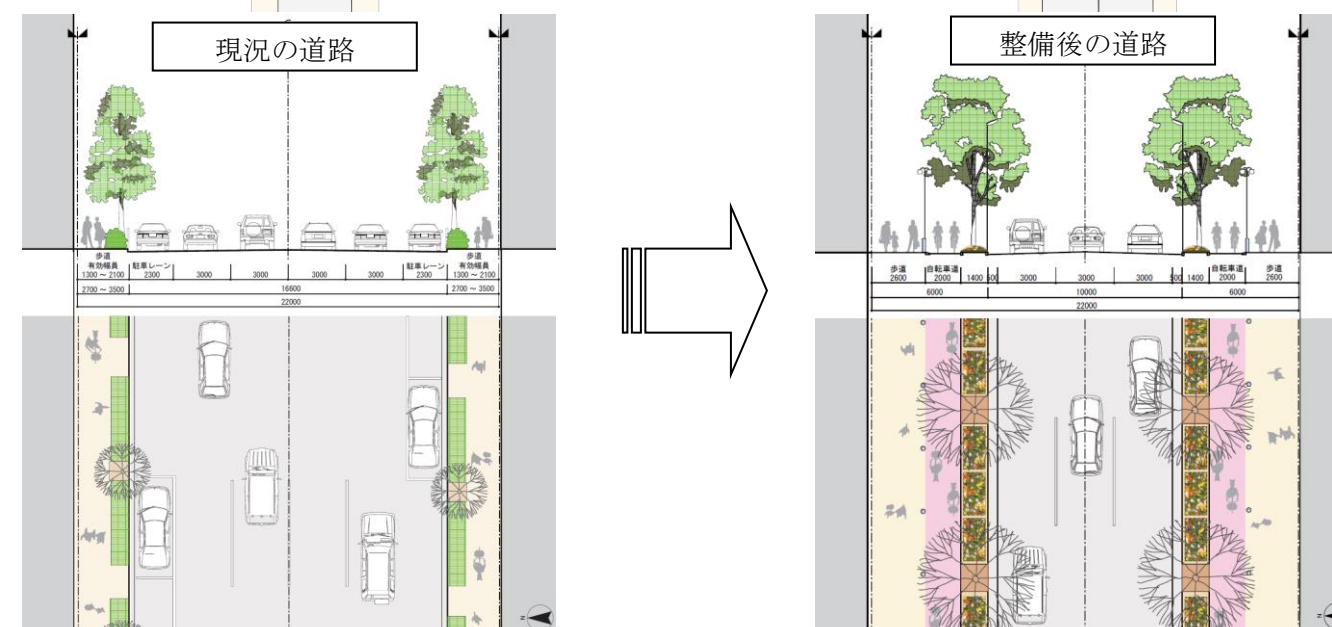
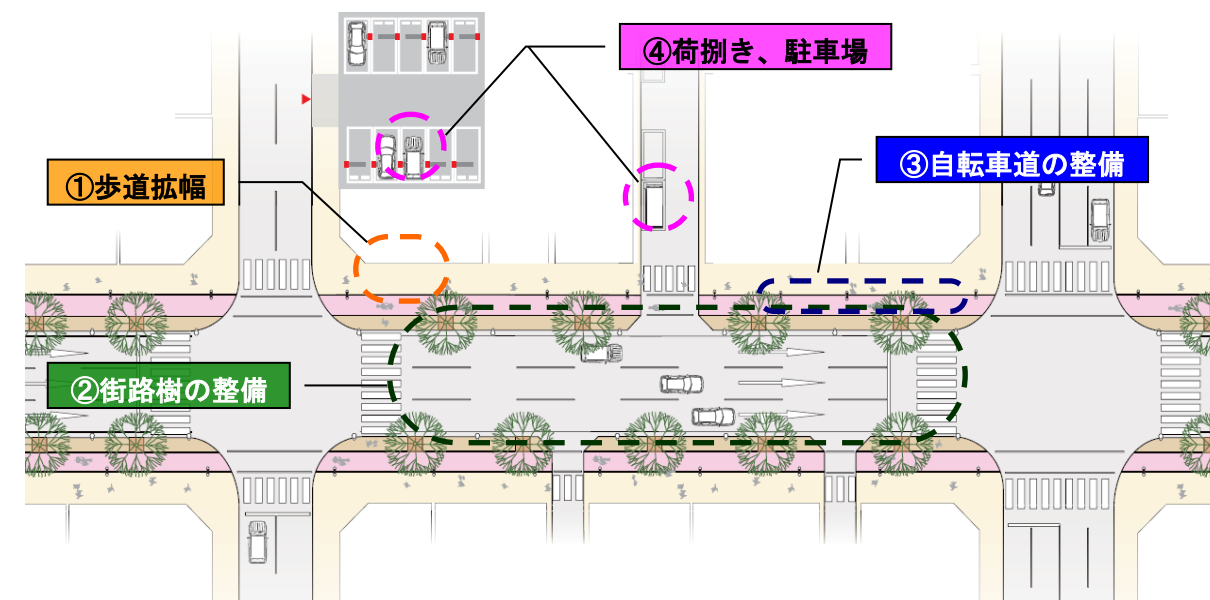
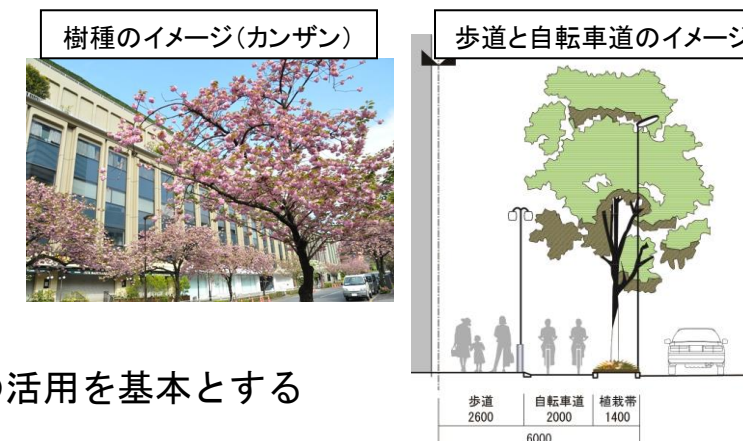


◆神田警察通りの取組み

〈整備方針〉

車中心から人中心の道路とする

- ①歩道拡幅
 - ②みどり豊かな並木道の整備
 - ③自転車道の整備
 - ④荷捌き、駐車場は周辺の施設の活用を基本とする
- 



神田警察通り沿道整備構想のポイント

◆神田警察通り沿道の取組み

〈整備方針①〉

神田警察通り沿道を3つのゾーンに分け、それぞれの特色を活かしたまちなみを形成する。

○ゾーンごとの特徴を持った施設を誘導

〈整備方針②〉

神田警察通りを軸として、その沿道に一体感をもたせるための取組みを推進する。

○神田警察通りとの一体感の形成による特色の発信

○神田警察通り沿道の魅力向上に向けた地域活動の推進

〈整備方針③〉

周辺地域への賑わいや憩いの場のために波及効果の高い施設を導入する。

○まとまったオープンスペース

○まちの賑わい・憩いの場に寄与する施設

○来街者の増加に対応する交通施設



	歴史・学術ゾーン	文化・交流ゾーン	食・賑わいゾーン
現況	●文教・学術施設が集積 ●歴史的な建造物が個性的な景観を形成 ●オープンスペースが不足	●神田警察通りのほぼ中央に位置 ●周辺に比べまちの特徴が薄れつつある ●オープンスペースが不足	●神田駅を中心に多数の来街者で賑わう ●飲食店をはじめ、数多くの店舗が立地 ●比較的居住人口が多い
目指すべき将来像	◎西の玄関口としてインフォメーションコーナーの整備。  ◎みどり豊かな広場、公園等の整備。 ◎教育機関の集積を活かし、産学連携のための情報交換や生涯学習の場の整備等。 	◎地域に開かれたまとまったオープンスペースの整備（イベントなどの地域活動の実施）。  ◎様々なイベントが堪能できる文化交流施設やギャラリー、ショールームの整備等。 	◎全国各地の様々な食文化、物産などが楽しめるアンテナショップや飲食店等の整備。  ◎憩い、集える空間（カフェ・ポケットパーク等）の整備。  ◎生活利便施設や子育て支援施設等の整備等。

◆今後の取組み

○現行の検討委員会の体制を発展させ、構想を踏まえた神田警察通り沿道のまちづくりに関する具体的内容を協議し、推進していくための「協議会」を設置

【協議内容】

- ・神田警察通りの整備に関すること
- ・沿道の開発などに対する整備構想を踏まえた誘導に関すること
- ・地域活性化に向けたゾーンごとの取組みに関すること
- ・その他沿道のまちづくりに関すること

